

【参照用】 2021年度休眠預金活用事業（通常枠） 事業計画入力項目についての記載ポイント

※公募システムに入力する内容を参照するための資料です。事業計画は**公募システムに直接入力いただく申請情報**になり、添付するものではありません。

申請事業名(主題) <small>※審査結果の公表時に、原則、原文のまま使用します。</small>	申請事業名を記載してください。（20字以内）
申請事業名(副題)	副事業名がある場合には、記載してください(任意)。（30字以内）

申請事業の種類1	4つの事業種類から指定してください。（①草の根活動支援、②ソーシャルビジネス形成支援、③イノベーション企画支援、④災害支援）
申請事業の種類2	上記と連動 ①草の根活動支援を指定した場合には〔全国〕か〔地域〕か、④災害支援を指定した場合にカテゴリーを選択してください。
申請事業の種類3	上記と連動 ①草の根活動支援〔地域〕を指定した場合には10ブロックの中から選択、④災害支援のカテゴリーにより選択してください。
申請団体名	法人の種類を含めた登記事項証明書と同じ名称が入力されていることを確認してください。（例：一般財団法人日本民間公益活動連携機構）

優先的に解決すべき社会の諸課題
申請事業の活動内容、直接対象とする人々や集団と直接関連する「優先的に解決すべき社会の諸課題」の領域・分野を選択してください。
※複数の領域、分野を選択することも可能ですが、間接的または手段として行うものは選択しないでください。

領域①	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	分野①	① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 ③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 ⑧ その他
領域②	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	分野②	④ 働くことが困難な人への支援 ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援 ⑧ その他
領域③	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	分野③	⑥ 地域の働く場づくりの支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援 ⑧ その他
領域④	4) その他	分野④	

その他の解決すべき社会の課題	上記の領域・分野のいずれかで「その他」を選択した場合には、当該課題について記述してください。（100字以内）
----------------	--

SDGsとの関連

ゴール	ターゲット	関連性の説明
申請事業の内容・目標が直接関連するSDGsのゴールを選択してください。 * 申請事業以外に団体が行っている事業内容・目標についてのゴールは含みません。 * ゴールは5つまで設定可能です。	申請事業の内容・目標が直接関連するSDGsのターゲットを選択してください。	解決すべき社会課題と、選択したSDGsのゴールおよびターゲットがどのように関連するのか記述してください。(100字以内)

実施時期	20YY年MM月～20YY年MM月	直接的対象グループ	事業で直接対象とする人々や集団を記載してください。	間接的対象グループ	事業の実施により間接的に便益を受ける人々や集団を記載ください
対象地域	活動を想定する地域(全国,県,市等)を記載してください。	人数		人数	

I. 団体の社会的役割

(1)申請団体の目的	(2)申請団体の概要・活動・業務
申請する団体の設立目的やビジョン等を記載ください。(200字以内)	申請する団体の概要、事業内容や活動実績等を記載ください。(200字以内)

II. 事業の背景・社会課題

(1)社会課題概要	(3)課題に対する行政等による既存の取組み状況
社会課題の概要を記載してください。(200字以内)	行政や民間などでの取り組みの状況や対策の内容および結果を記載してください。行政や民間などの対応に不足している点があればその点も記載してください。(200字以内)
(2)社会課題詳述	(4)課題に対する申請団体の既存の取組状況
(1)について、現状をどのように認識しているか、対象地域・分野等を含めて詳述してください。また、次の各点についても詳述してください。1.社会課題の妥当性、2.申請事業対象グループ等の妥当性(詳細はJANPIAの評価指針の39ページ「別添資料2の1」の「資金分配団体の事前評価の主な評価小項目例」の「課題の分析」を参照してください。)(800字以内)	解決すべき社会課題に対して、申請団体がこれまで取り組んできた活動内容を記述してください。(200字以内)
	(5)休眠預金等交付金に係わる資金の活用により本事業を実施する意義
	上記(1)～(4)を踏まえた上で、本事業を休眠預金制度で取り組もうとする意義をご記載ください。(200字)

III. 申請事業

(1)申請事業の概要
※審査結果の公表時に、原則、原文のまま使用します。
III-(2)～(7)の概要を500字以内にまとめて記述してください。(500字以内)

(2)インプット ※「資金計画」に入力された内容を自動で表示するため「事業計画」として算出する必要はありません。							
資金	①事業費 (自己資金含む)	内訳：実行団体への 助成金等充当額	管理的経費	②プログラム・オフィサー関連経費	③評価関連経費	④助成金申請額	⑤補助率
	¥	¥	¥	¥	¥	¥	%

(3)活動(資金支援)		時期
事業活動0年目	資金支援の活動とは、資金分配団体の助成により、実行団体が行うと想定される活動内容です。(5)短期アウトカム(資金支援)につながる実行団体の活動(想定される)を、事業年度毎に具体的に記載してください。なお、社会課題がどのように解決されて短期アウトカムに繋がるのかが分かるように記述してください。(200字以内)	現時点で想定される事業年度内の活動時期について記述してください。(20字以内)
事業活動1年目	同上	同上
事業活動2年目	同上	同上
事業活動3年目	同上	同上

(4)活動(組織基盤強化・環境整備(非資金的支援))		時期
事業活動0年目	「非資金的支援」は、実行団体の「組織基盤強化」と事業実施に必要な活動の「環境整備」などが対象となります。「組織基盤強化」は、資金分配団体の実行団体への伴走支援等で想定される活動内容です。例えば、目標設定(ビジョン・ミッション・バリューの確立)、人的基盤の確立、資金調達を含む財政基盤の確立、ガバナンス(組織統治体制)整備、評価実施の支援、調査・普及啓発等の支援などが想定されます。 「環境整備」とは、支援の出口戦略を検討し、社会の諸課題が自律的かつ持続的に解決される仕組みが構築されるような活動を指します。例えば、課題に共感する住民や団体(NPO・企業・行政等)をつなげるネットワーク活動、自らの活動の社会的意義や成果等に係わる積極的な情報発信、問題を可視化し公的施策等の制度化を目指した提言活動等への取り組み、休眠預金等に係る資金を根に新たな民間資金の調達などへの取り組み等が挙げられます。(6)短期アウトカム(組織基盤強化・環境整備支援(非資金的支援))につながる活動(想定される)を、事業年度毎に具体的に記載してください。なお、社会課題がどのように解決されて短期アウトカムに繋がるのかが分かるように記述してください。(200字以内)	現時点で想定される事業年度内の活動時期について記述してください。(20字以内)
事業活動1年目	同上	同上
事業活動2年目	同上	同上
事業活動3年目	同上	同上

(5)短期アウトカム(資金支援)	指標	初期値/初期状態	目標値/目標状態	目標達成時期
事業終了時に資金分配団体・実行団体の事業実施によって事業対象グループがどのような状態になり、どのような社会になることを目指しているかを記載してください。(100字以内) (記入例：(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により、(対象グループ)が(x x x)になる。)	アウトカム指標は、アウトカムを何で測るのかを明示するものです。 *指標の項目数の設定は任意ですが、定量的指標、定性的指標の複数を設定することを推奨します。(100字以内)	初期値とは事業実施前のアウトカム指標の状態を示した値です。各アウトカム指標の初期値を記載してください。 *初期値設定のための調査が必要な場合は、採択後に調査を行うことも可能です。(100字以内)	目標値とは事業実施により達成したいアウトカム指標の状態を示した値です。各アウトカム指標の目標値を記載してください。(100字以内)	各アウトカムに対して、達成したい時期を年月で記載してください。
※合計8つまで設定可能です				

(6)短期アウトカム (組織基盤強化・環境整備支援(非資金的支援))	指標	初期値/初期状態	目標値/目標状態	目標達成時期
事業終了時に資金分配団体の実行団体への組織基盤強化により実行団体がどのような状態になるのか、また環境整備支援により社会課題を自律的・持続的に解決する仕組みがどのように構築されるのか等、目指すことを記載してください。(100字以内)	アウトカム指標は、アウトカムを何で測るのかを明示するものです。 *指標の項目数の設定は任意ですが、定量的指標、定性的指標の複数を設定することを推奨します。(100字以内)	初期値とは事業実施前のアウトカム指標の状態を示した値です。各アウトカム指標の初期値を記載してください。 *初期値設定のための調査が必要な場合は、採択後に調査を行うことも可能です。(100字以内)	目標値とは事業実施により達成したいアウトカム指標の状態を示した値です。各アウトカム指標の目標値を記載してください。(100字以内)	各アウトカムに対して、達成したい時期を年月で記載してください。
※合計6つまで設定可能です				

(7)中長期アウトカム
事業終了から●年後(各団体が想定する時期)に事業実施によって事業対象グループがどのような状態になり、どのような社会になることを目指しているかを記述してください。 <記入例>事業終了後●年後に(対象地域)において〇〇することにより、(対象グループ)が〇〇された地域や社会になる

IV.実行団体の募集

(1)採択予定実行団体数	(50字以内)
(2)実行団体のイメージ	(200字以内)
(3)1実行団体当り助成金額	想定している1実行団体当りの助成金額を記載してください。助成金額に差をつける場合は、詳細を記述してください。(200字以内)
(4)助成金の分配方法	助成金分配の具体的内容、そのスキームを記載してください。成果運動型助成を検討されている場合その旨具体的に記載してください。(200字以内)
(5)案件発掘の工夫	実行団体候補を発掘する取り組みについて記述してください。(200字以内)

V.評価計画

項目	事前評価	中間評価	事後評価
提出時期	20YY年MM月	20YY年MM月	20YY年MM月
実施体制	評価を行うための実施体制を記載してください。評価に関わる調査等の一部の業務を外部委託することは可能ですが、自己評価が基本となります。(200字)	評価を行うための実施体制を記載してください。評価に関わる調査等の一部の業務を外部委託することは可能ですが、自己評価が基本となります。(200字)	評価を行うための実施体制を記載してください。評価に関わる調査等の一部の業務を外部委託することは可能ですが、自己評価が基本となります。(200字)
必要な調査	<p>事業の事前評価をする際の調査方法を、以下の項目より選択してください。(複数選択可) 選択の際には、以下の「評価に必要なデータや情報源の例」を参考にしてください。</p> <p>【参考】評価に必要なデータや情報源の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なデータ：定量データ、定性データ ・情報源：必要なデータはどこにあるのか(例えば、先行研究、行政資料、実行団体のNPO、実行団体の記録等)。また、インタビューやディスカッション等は誰を対象とするのか等。 <p>▼選択項目</p> <p>文献調査、アンケート調査、ワークショップ、関係者インタビュー、フォーカスグループディスカッション、ケーススタディ、直接観察、定量データの収集、その他</p>	<p>事業の中間評価をする際の調査方法を、以下の項目より選択してください。(複数選択可) 選択の際には、以下の「評価に必要なデータや情報源の例」を参考にしてください。</p> <p>【参考】評価に必要なデータや情報源の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なデータ：定量データ、定性データ ・情報源：必要なデータはどこにあるのか(例えば、先行研究、行政資料、実行団体のNPO、実行団体の記録等)。また、インタビューやディスカッション等は誰を対象とするのか等。 <p>▼選択項目</p> <p>文献調査、アンケート調査、ワークショップ、関係者インタビュー、フォーカスグループディスカッション、ケーススタディ、直接観察、定量データの収集、その他</p>	<p>事業の事後評価をする際の調査方法を、以下の項目より選択してください。(複数選択可) 選択の際には、以下の「評価に必要なデータや情報源の例」を参考にしてください。</p> <p>【参考】評価に必要なデータや情報源の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なデータ：定量データ、定性データ ・情報源：必要なデータはどこにあるのか(例えば、先行研究、行政資料、実行団体のNPO、実行団体の記録等)。また、インタビューやディスカッション等は誰を対象とするのか等。 <p>▼選択項目</p> <p>文献調査、アンケート調査、ワークショップ、関係者インタビュー、フォーカスグループディスカッション、ケーススタディ、直接観察、定量データの収集、その他</p>
外部委託内容	<p>評価に関わる調査等の一部の業務の外部委託を検討している場合には、外部委託する内容を以下の項目より選択してください。(複数選択可)</p> <p>▼選択項目</p> <p>文献調査、アンケート調査、ワークショップ、関係者インタビュー、フォーカスグループディスカッション、ケーススタディ、直接観察、定量データの収集、その他、外部委託は行わない</p>	<p>評価に関わる調査等の一部の業務の外部委託を検討している場合には、外部委託する内容を以下の項目より選択してください。(複数選択可)</p> <p>▼選択項目</p> <p>文献調査、アンケート調査、ワークショップ、関係者インタビュー、フォーカスグループディスカッション、ケーススタディ、直接観察、定量データの収集、その他、外部委託は行わない</p>	<p>評価に関わる調査等の一部の業務の外部委託を検討している場合には、外部委託する内容を以下の項目より選択してください。(複数選択可)</p> <p>▼選択項目</p> <p>文献調査、アンケート調査、ワークショップ、関係者インタビュー、フォーカスグループディスカッション、ケーススタディ、直接観察、定量データの収集、その他、外部委託は行わない</p>

VI.事業実施体制

(1)事業実施体制	資金分配団体として、申請事業を実施するための実施体制(外部協力者も含む)を記述してください。(200字以内)
(2)コンソーシアムでの申請	申請事業の運営の意思決定及び実施を2団体以上で共同して行う場合には、「コンソーシアムで申請する」を選択してください。
(3)メンバー構成と各メンバーの役割	(1)の実施体制に記載した、各メンバーの担当・役割の詳細を示してください。外部人材を活用する場合は目的、役割、配置等を示してください。(200字以内)
(4)ガバナンス・コンプライアンス体制	不正行為、利益相反等を管理する為のガバナンス・コンプライアンス体制を示してください。(200字)

Ⅶ. 出口戦略と持続可能性

(1) 資金分配団体	<p>中間支援組織として、自らの組織を事業期間終了後に休眠預金に依存せずに自走化させる戦略と長期的に目指す姿について、以下の視点を参考に記載してください。</p> <p>①資金を自ら調達できる環境の整備（民間企業や金融機関等の民間の資金を呼び込むための具体策）、②事業、組織の自走化、③社会の諸課題が自律的かつ持続的に解決される仕組みの構築、④公的施策としての制度化、等（400字以内）</p>
(2) 実行団体	<p>中間支援組織として、採択した実行団体が事業期間終了後に休眠預金に依存せずに自走化できるための支援の戦略について、以下の視点を参考に記載してください。</p> <p>①民間公益活動の自立した担い手の育成、②資金を自ら調達できる環境の整備（民間企業や金融機関等の民間の資金を呼び込むための具体策）、③事業、組織の自走化、④社会の諸課題が自律的かつ持続的に解決される仕組みの構築、⑤公的施策としての制度化、等（400字以内）</p>

Ⅷ. 広報、外部との対話・連携戦略

(1) 広報戦略
<p>休眠預金等活用事業とその成果を多様な広報媒体、報告等により発信するための広報戦略について、実施内容、ターゲット、手段、期待される効果等を記載してください。（200字以内）</p>
(2) 外部との対話・連携戦略
<p>他のセクター、団体、企業等の事業への参画、多様な関係者（ステークホルダー）との対話など、それぞれを推進する連携・対話の戦略を記載してください。JANPIA、実行団体との連携を進めるための体制と計画があれば記載してください。（200字以内）</p>

Ⅸ. 関連する主な実績

(1) 助成事業の実績と成果	前年度に助成した団体数	前年度の助成総額(円)
<p>申請団体のこれまでの中間支援組織としての助成事業の実績と成果を記述してください。（800字以内）</p>		
(2) 申請事業に関連する調査研究、連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等		
<p>申請事業に関する調査研究の実績を記載してください。他のセクター・団体・企業等との連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等もあればアピールしてください。（800字以内）</p>		

X. 申請事業種類別特記事項

(1) 草の根活動支援事業	<p>さらなる活動の質・量の拡大や成果の向上等、従来の活動との違いを記述してください。（200字以内）</p>
(2) ソーシャルビジネス形成支援事業	<p>社会課題の解決と収支相償以上の事業性や事業の収益性を同時に満たすビジネスモデルの形成について記述してください。（200字以内）</p>
(3) イノベーション企画支援事業	<p>公募要領巻末の参考資料「6. イノベーション企画支援事業の考え方と新規性の例」を参考に、申請事業の「新規性」について記述してください。（200字以内）</p>
(4) 災害支援事業	<p>行政が行っている災害支援事業との違いについて記述してください。また、今後発生する災害を対象とする場合は、想定されるリスクとその対応について記述してください。（200字以内）</p>